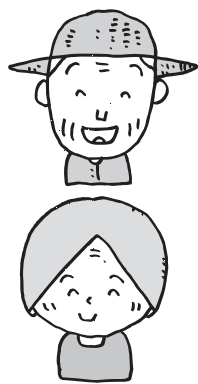


## おじいさん、おばあさん



ばあちゃんへ

いつも野さいを作ってくれてありがとう。ばあちゃんが作る野さいは世界で一番おいしいよ。その中でもきゅうりとみかんとレモンがすきだよ。ゆうやも学校がんばるからばあちゃんも野さい作りがんばってね。

じいちゃん・ばあちゃんへ

いつも学童のむかえに来てくれてありがとう。こしや足がいたいのにごめんね。あとおこらせてごめんね。

これからはじいちゃんとはあちゃんを心配させないようにがんばるよ。わたしが大人になるまでずっと二人で仲良くいっしょにいてね。じいちゃんとはあちゃんからもらったお守り古くなってもずっと持つてるからね。ずっと大好きだよ。

それと、ばあちゃんが作ったかぼちゃや肉じゃが、とってもおいしいよ。これからもたくさん作ってね。

天国のおじいちゃんへ

おじいちゃんがなくなって、もう二年も経つね。あんなにやさしくて、大好きだったのになんでだろうね。じいじがなくなり、おそう式の時、わたしはすごく泣いたよ。

じいじに書いた手紙今も持っている。手紙を書く時、はじめは書くのがいやだった。つらかった。じいじと別れたくなかった。でも、がんばって泣きながら手紙を書いたよ。今もときどきじいじの写真を見て、前のでき事を思い出すよ。じいじのことずっと忘れないから、いつまでも天国でわたしたちのことを見守っててね。

じいちゃんへ

この前、八十八歳の祝いをしましたね。

八十八年、私たちの倍を生きていますね。その間にはいろんな事があったことでしょう。うれしい事、つらい事、でも今の姿を見てみるとそんなことはおかまいなしで前へ前へと生きておられる姿、見習わなくてはと思います。

いつまでもお元気で私たちのお手本となってください。